

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年9月20日

JAMA:コロナ対策は低所得国の人々の命を救う

## 【松崎雑感】

4枚目のスライドが示すように、アフリカ大陸を中心にワクチン接種率がとても低い国が多く残っています。新型コロナ死亡率は、ワクチン済の人々ではとても低くなりました（1000人に1人程度）が、ワクチン未接種の人々ではその10倍以上です。したがって、一回もワクチンを受けていない人々に接種する資金と実物の支援を行うことが命を救うためにとても重要です。しかし、それだけではありません。新たな変異株は新規感染者が多いほど、しかも、HIV感染などで免疫の低下している人々の中で多く発生します。低中所得国に対するワクチン接種を支援することは、高所得国を含む世界全体を、新たな手ごわい変異株の発生から守るために、死活的に重要なのです。

## コロナ対策は低所得国の人々の命を救う

Larkin HD. Preventing COVID-19, Saving Lives in Lower-Income Countries. *JAMA*. 2022;328(7):611. doi:10.1001/jama.2022.13667

低中所得国91か国に対する新型コロナワクチン接種費用の援助を進めることは、これらの国の人々の感染を防ぎ、命を救う上で、最も費用効果の高い対策であることが、*Journal of Infectious Diseases*に掲載された論文で明らかにされた。



Siedner MJ, Alba C, Fitzmaurice KP, et al. Cost-effectiveness of COVID-19 vaccination in low- and middle-income countries [published online ahead of print, 2022 Jun 13]. *J Infect Dis*. 2022;jiac243. doi:10.1093/infdis/jiac243

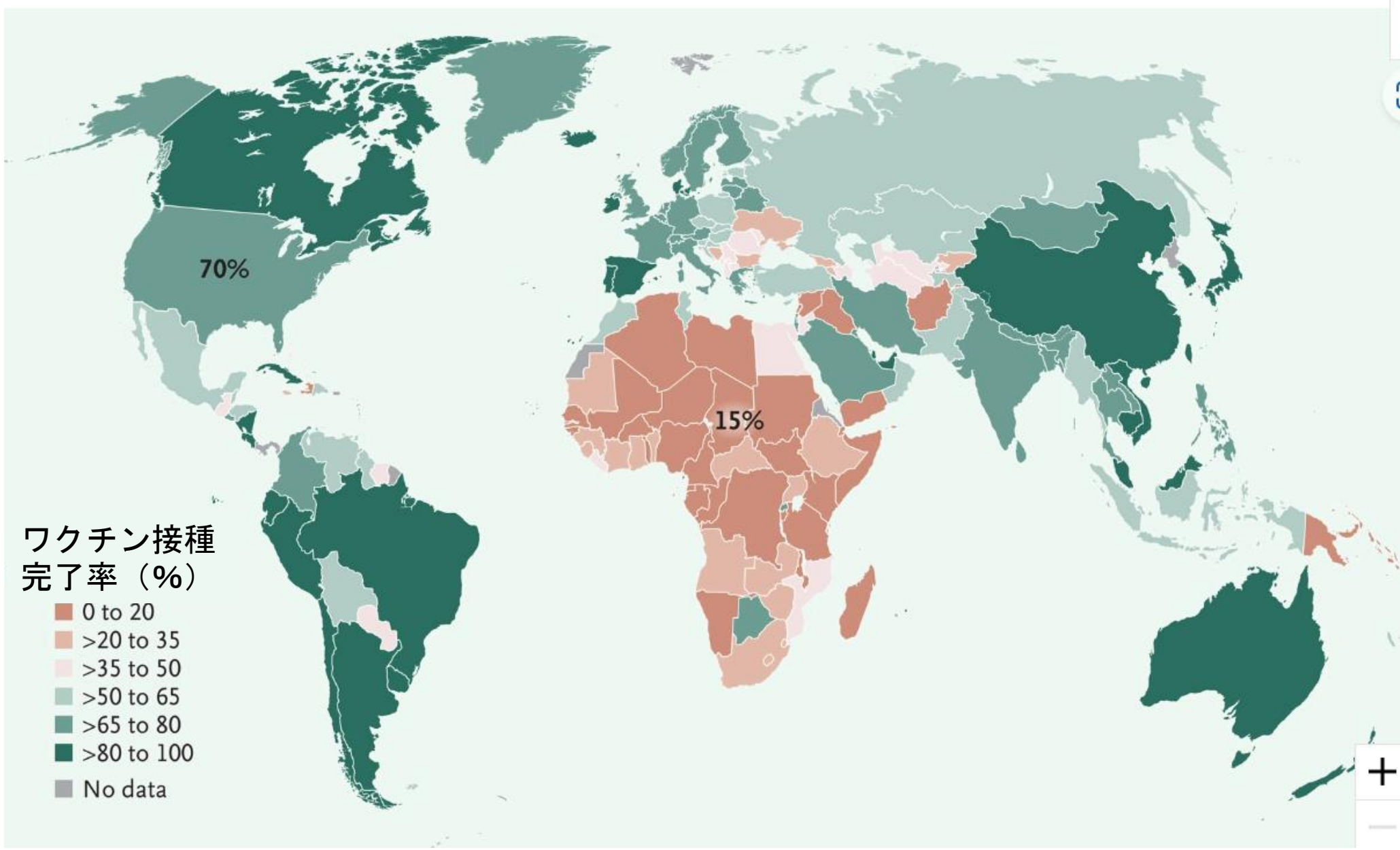
この研究は、新型コロナワクチン接種率を15%、30%、45%、60%に増加させた場合の救命費用と寿命延長度を数学的モデルによって推計した。

現在のワクチン接種率は、高所得国で74%だが、低所得国で13%、低中所得国で40%未満となっている。ちなみに検討対象となった低中所得国のワクチン接種率は0%～86%である。（次スライド参照）

感染力は高いが毒性が低いという特徴を持つオミクロン株が流行しているというシナリオ下で、91か国すべてのワクチン接種率を15%にした場合、1年間に1100万人の感染と12万人の死亡を防ぐことができるという結果だった。

このために必要なワクチン接種費用は9億5千万ドルだが、救命費用は一人1年あたり670ドルだった。ワクチン接種率を60%にすると、6800万人の感染と16万人の死亡を防ぐことができ、救命費用は一人1年あたり8千ドル弱だった。より病原性が高い変異株流行のシナリオでは、一人1年あたり4千ドルとなった。

「低中所得国に対する新型コロナワクチン接種費用支援ファンドは、数十万人の命を救い、他の分野の支援ファンド以上の費用効果があり、健康格差の緩和をもたらす」と著者は述べている。



国別ワクチン接種率